

プログラム（講演）

第1会場（2F sola city Hall） 8:20～8:30

開会の辞

- 【代表世話人】 工藤 正俊（近畿大学医学部 消化器内科学）
【顧問】 沖田 極（周南記念病院 名誉院長）
【当番世話人】 田中 真二（東京医科歯科大学 分子腫瘍医学）

第1会場（2F sola city Hall） 8:30～9:20

プレナリーセッション1

- 【司会】 坂本 直哉（北海道大学大学院医学研究院 消化器内科学教室）
長谷川 潔（東京大学 肝胆膵外科）

PL1-1 分子標的薬のシークエンシャル治療

～プロペンシティスコアマッチングとサブグループ解析～

¹国立病院機構九州がんセンター 消化器肝胆膵内科、²福岡市民病院、³製鉄記念八幡病院、⁴福岡東病院、⁵小倉医療センター、⁶九州大学病院、⁷九州医療センター、⁸飯塚病院

- 杉本 理恵¹、多田 靖哉⁴、高尾 信一郎⁴、上田 哲弘²、樋口 野日斗²、大穂 有恒³、大江 真里³、
千住 猛士¹、田中 ゆき¹、稲田 浩気¹、佐藤 丈顕⁵、山下 晋作⁵、吉本 剛志⁷、田中 正剛⁶、
田中 紘介⁸、矢田 雅佳⁸、森田 祐輔⁸、桑野 哲史⁸、本村 健太⁸、国府島 庸之⁶

PL1-2 進行肝細胞がんに対するシークエンシャル療法の成績

神奈川県立がんセンター 消化器内科

- 福島 泰斗、小林 智、上野 誠、大石 梨津子、紺野 直紀、佐野 裕亮、田中 聡、手塚 瞬、森本 学

PL1-3 進行肝細胞癌患者におけるレンパチニブ治療後の後治療の現状

¹千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、²国保旭中央病院 消化器内科、³君津中央病院 消化器内科、
⁴日本医科大学千葉北総病院 消化器内科、⁵船橋市立医療センター 消化器内科、
⁶松戸市立総合医療センター 消化器内科、⁷国立病院機構千葉医療センター 消化器内科

- 興梠 慧輔¹、小笠原 定久¹、丸田 享²、叶川 直哉¹、大部 誠道³、糸川 典夫⁴、井上 将法²、
芳賀 祐規⁷、関 厚佳⁵、岡部 真一郎⁶、厚川 正則⁴、糸林 詠²、伊藤 健治⁷、水本 英明⁵、
小林 和史¹、近藤 孝行¹、鈴木 英一郎¹、千葉 哲博¹、新井 誠人¹、加藤 直也¹

PL1-4 根治切除不能肝細胞癌に対する減量肝切除 / 分子標的薬 sequential 治療についての検討

北海道大学病院 消化器外科 I

- 旭 火華、神山 俊哉、柿坂 達彦、折茂 達也、長津 明久、坂本 讓、蒲池 浩文、武富 紹信

第1会場（2F sola city Hall） 9:30～10:20

プレナリーセッション2

- 【司会】 池田 公史（国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科）
武富 紹信（北海道大学 消化器外科 I）

PL2-1 治療後 cell-free DNA 解析による分子標的薬の治療効果予測

東京大学医学部 消化器内科

- 中塚 拓馬、中川 勇人、早田 有希、和氣 泰次郎、山田 友春、木下 瑞希、中込 良、佐藤 雅哉、
南 達也、榎奥 健一郎、工藤 洋太郎、田中 康雄、大塚 基之、建石 良介、小池 和彦

PL2-2 進行肝癌多剤薬物療法の成績

広島大学病院 消化器・代謝内科

○河岡 友和、鳴戸 謙輔、安藤 雄和、小坂 祐未、網岡 慶、内川 慎介、相方 浩、茶山 一彰

PL2-3 肝細胞癌症例に対するレンバチニブの etiology 別にみた宿主免疫の変動

¹東邦大学医療センター大森病院 消化器内科、²東邦大学薬学部 病態生化学研究室

○小林 康次郎¹、永井 英成¹、向津 隆規¹、毛利 州秀¹、渡邊 剛¹、天沼 誠¹、吉峰 尚幸¹、
荻野 悠¹、松井 哲平¹、松井 大吾¹、和久井 紀貴¹、松清 靖¹、大道 泰子¹、粕山 浩一¹、
桧貝 孝慈²、五十嵐 良典¹

PL2-4 Stem cell/Immune exhausted subclass マウス肝がんの特性解析

金沢大学 消化器内科

○岡田 光、山下 太郎、金子 周一

第 1 会場 (2F sola city Hall) 10:30 ~ 12:00

共催セミナー 1

がん免疫と分子標的治療

【司 会】 小池 和彦 (東京大学大学院消化器内科学)
坂元 亨宇 (慶應義塾大学医学部病理学教室)

【共 催】 バイエル薬品株式会社

SS1-1 肝がんにおける免疫療法について

千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学

○加藤 直也

SS1-2 個別化複合がん免疫療法の開発に向けて

国際医療福祉大学医学部 免疫学、慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 細胞情報研究部門

○河上 裕

第 1 会場 (2F sola city Hall) 12:15 ~ 13:05

ランチョンセミナー

肝細胞癌治療における免疫療法時代の到来

【司 会】 田邊 稔 (東京医科歯科大学大学院 肝胆臓外科学分野)

【共 催】 中外製薬株式会社

LS1-1 肝細胞癌治療における免疫療法時代の到来

近畿大学医学部 消化器内科学教室

○工藤 正俊

第1会場 (2F sola city Hall) 13:20 ~ 14:50

共催セミナー2

肝がんの基礎と臨床の最前線

- 【司 会】 有井 滋樹 (神戸市立医療センター西市民病院)
奥坂 拓志 (国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科)
【共 催】 日本イーライリリー株式会社

SS2-1 新しい肝癌薬物療法時代におけるサイラムザの役割

武蔵野赤十字病院消化器科

- 泉 並木、土谷 薫、早川 優香、板倉 潤、中西 裕之、高橋 有香、安井 豊、高浦 健太、金子 俊、大澤 玲於奈、前屋敷 千春、山下 洸司、関口 修平、樋口 麻友、武藤 智弘、桐野 桜、稲田 賢人、黒崎 雅之

SS2-2 肝細胞がん悪性化とゲノムプロファイル

¹東京大学先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス分野、²日本大学医学部消化器外科

- 油谷 浩幸¹、緑川 泰²

第1会場 (2F sola city Hall) 15:00 ~ 16:30

共催セミナー3

肝細胞癌におけるシーケンシャル治療の新展開

- 【司 会】 島田 光生 (徳島大学大学院 消化器・移植外科学)
【共 催】 エーザイ株式会社 / MSD 株式会社

SS3-1 シーケンシャル治療時代における Molecular profile に基づいた最適な肝細胞癌治療戦略

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

- 小玉 尚宏、竹原 徹郎

SS3-2 Intermediate stage 肝癌 TACE 不適症例に対するレンバチニブ先行 TACE“LEN-TACE sequential 療法”

広島大学 大学院医系科学研究科 消化器・代謝内科学

- 相方 浩

SS3-3 進行肝細胞癌における conversion 療法～肝動注からレンバチニブへ～

兵庫医科大学 肝胆膵外科

- 波多野 悦朗、多田 正晴、中村 育夫、藤本 康弘

第1会場 (2F sola city Hall) 16:40 ~ 17:30

プレナリーセッション3

- 【司 会】 古瀬 純司 (杏林大学医学部 腫瘍内科学)
調 憲 (群馬大学 総合外科学講座 肝胆膵外科分野)

PL3-1 肝細胞癌における微小環境下での腫瘍免疫とがん代謝の意義

九州大学大学院 消化器・総合外科

- 伊藤 心二、吉住 朋晴、伊勢田 憲史、富山 貴央、森永 哲成、下川 雅弘、島垣 智成、王 歆林、栗原 健、長尾 吉泰、戸島 剛男、原田 昇、森 正樹

PL3-2 針生検サンプルを用いた進行肝細胞癌の腫瘍微小環境へのアプローチ

¹千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、²千葉大学大学院医学研究院 分子ウイルス学、
³千葉大学大学院医学研究院 診断病理学、⁴千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学

○神崎 洋彰¹、小笠原 定久¹、興梠 慧輔¹、小林 和史¹、清野 宗一郎¹、叶川 直哉¹、中村 昌人¹、
齊藤 朋子¹、近藤 孝行¹、中川 良¹、鈴木 英一郎¹、中本 晋吾¹、室山 良介²、太和田 暁之¹、
千葉 哲博¹、新井 誠¹、池田 純一郎³、大塚 将之⁴、加藤 直也¹

PL3-3 切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ (Atezo) +ベバシズマブ (Bev) 療法に関する日本人集団の検討 -IMbrave 150 部分集団解析 -

¹国立がん研究センター東病院 肝胆臓内科、²久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門、
³金沢大学 先進予防医学研究センター、⁴中外製薬株式会社 臨床開発本部、⁵近畿大学医学部 消化器内科

○池田 公史¹、古賀 浩徳²、山下 竜也³、河上 怜恵⁴、中川 雄貴⁴、工藤 正俊⁵

PL3-4 Novel regimen tremelimumab (T) + durvalumab (D) for patients (pts) with unresectable hepatocellular carcinoma (uHCC): Efficacy and safety

¹近畿大学医学部 消化器内科、²国立がん研究センター中央病院 肝胆臓内科、
³国立がん研究センター東病院 肝胆臓内科、⁴University of California, USA、
⁵Liver Unit, Clinica Universidad de Navarra, IDISNA and CIBEREHD, Spain、⁶University of Washington, USA、
⁷Asan Medical Center, Department of Oncology, South Korea、⁸Cancer Center of Nanjing, Jinling Hospital, China、
⁹National Cancer Centre Singapore, Singapore、¹⁰Samsung Medical Center South Korea、
¹¹Queen Mary Hospital, Hong Kong、¹²National University Cancer Institute, Singapore、
¹³National Taiwan University, Taiwan、¹⁴Catholic University of the Sacred Heart, Italy、
¹⁵Fondazione IRCCS Istituto Nazionale Tumori, Italy、¹⁶Hospital Clinic, IDIBAPS and CIBEREHD, Spain、
¹⁷Mayo Clinic Cancer Center, USA、¹⁸AstraZeneca, Gaithersburg, USA、
¹⁹Memorial Sloan Kettering Cancer Center and Weill Medical College at Cornell University, USA

○工藤 正俊¹、奥坂 拓志²、池田 公史³、R. Katie Kelley⁴、Bruno Sangro⁵、William Harris⁶、
Yoon-Koo Kang⁷、Shukui Qin⁸、David Wai Meng Tai⁹、Ho Yeong Lim¹⁰、
Thomas Chung Cheung Yau¹¹、Wei Peng Yong¹²、Ann-Lii Cheng¹³、
Antonio Gasbarrini¹⁴、Silvia Damian¹⁵、Jordi Bruix¹⁶、Mitesh Borad¹⁷、Philip He¹⁸、
Alejandra Negro¹⁸、Ghassan K. Abou-Alfa¹⁹

第1会場 (2F sola city Hall) 17:30 ~ 17:35

閉会の辞

【次回当番世話人】森山 光彦 (日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野)

【当番世話人】田中 真二 (東京医科歯科大学 分子腫瘍医学)